



令和5年度 決算説明資料 (第18期)

公立大学法人
名古屋市立大学





令和5年度決算の概要

(単位:百万円)

区 分	R4年度 A	R5年度 B	みどり みらい除く C	増減 B-A	みどり みらい除く C-A	前年度比 B/A	みどり みらい除く C/A
経常費用	83,862	93,629	86,610	9,767	2,748	112%	103%
業務費	82,187	91,819	84,904	9,632	2,717	112%	103%
①	教育研究経費	3,407	3,543	136	112	104%	103%
	診療経費	39,084	43,721	4,637	1,922	112%	105%
	受託研究費等	1,365	1,290	△ 75	△ 75	95%	95%
	人件費	38,330	43,264	4,934	758	113%	102%
②	一般管理費等	1,675	1,809	134	49	108%	103%
経常収益	89,164	92,164	86,764	3,000	△ 2,400	103%	97%
運営費交付金収益	9,579	13,480	11,842	3,901	2,263	141%	124%
学生納付金収益	2,815	3,081	3,081	266	266	109%	109%
③	附属病院収益	62,292	67,690	5,398	2,039	109%	103%
④	受託研究等収益等	1,514	1,974	460	459	130%	130%
⑤	寄附金・補助金等収益	9,961	5,123	△ 4,838	△ 5,223	51%	48%
⑥	研究関連収入	224	208	△ 16	△ 16	93%	93%
⑦	雑益等	2,775	605	△ 2,170	△ 2,187	22%	21%
経常損益	5,301	△ 1,465	153	△ 6,766	△ 5,148	△ 28%	3%
⑧	臨時損益	137	17,985	17,848	15,417	13128%	11353%
⑨	目的積立金取崩額	71	376	305	285	530%	501%
⑩	当期総損益	5,510	16,896	11,386	10,554	307%	292%

(注) 計数については、それぞれ切捨てで表示しているため、合計と合致しないものがある。以下各表について同じ。

【ポイント】

※前年度比較のため、みどり・みらいを除いた増減(C-A)について記載

(経常費用)

①診療経費

- ・患者数増加に伴う医薬材料費の増等により1,922百万円の増

②人件費

- ・医師・看護師の増並びにデータサイエンス学部の新設及び中央看護専門学校の統合に伴う常勤教員の増等により758百万円の増

(経常収益)

③附属病院収益

- ・診療単価の増や患者数の増等により2,039百万円の増

④寄附金・補助金等収益

- ・県新型コロナウイルス感染症病床確保料補助金の減少等により5,223百万円の減

⑤雑益等

- ・会計制度の改訂（資産見返負債の廃止）に伴う資産見返戻入の減等により2,187百万円の減

⑥臨時損益

- ・会計制度の改訂（資産見返負債の廃止）に伴う臨時利益の増等により15,417百万円の増



令和5年度決算セグメント別の状況

(単位: 百万円)

区 分	大 学			市大病院			東部医療センター			西部医療センター			みどり 市民病院	みらい 光生病院
	R4年度	R5年度	増減	R4年度	R5年度	増減	R4年度	R5年度	増減	R4年度	R5年度	増減	R5年度	R5年度
経常費用	12,594	13,077	483	35,043	36,397	1,354	16,593	16,929	336	19,631	20,206	575	4,322	2,695
業務費	11,681	12,126	445	34,641	35,994	1,353	16,435	16,775	340	19,428	20,009	581	4,225	2,689
教育研究経費	3,239	3,351	112	80	73	△ 7	49	54	5	37	40	3	8	16
診療経費	-	-	-	20,290	21,676	1,386	8,023	8,216	193	10,769	11,113	344	1,767	946
受託研究費等	1,047	941	△ 106	311	343	32	4	3	△ 1	1	2	1	-	0
人件費	7,394	7,832	438	13,957	13,901	△ 56	8,358	8,501	143	8,620	8,852	232	2,449	1,726
一般管理費等	912	951	39	402	403	1	158	154	△ 4	202	197	△ 5	97	6
経常収益	12,727	13,380	653	37,130	36,906	△ 224	18,660	16,600	△ 2,060	20,646	19,876	△ 770	3,385	2,014
運営費交付金収益	6,050	6,983	933	1,791	2,550	759	1,197	1,410	213	538	897	359	588	1,048
学生納付金収益	2,815	3,081	266	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
附属病院収益	-	-	-	30,521	32,018	1,497	14,274	14,170	△ 104	17,497	18,142	645	2,564	794
受託研究等収益等	1,083	1,056	△ 27	420	904	484	7	8	1	2	4	2	-	0
寄附金・補助金等収益	1,962	1,796	△ 166	4,028	1,274	△ 2,754	2,551	941	△ 1,610	1,420	726	△ 694	220	164
研究関連収入	224	208	△ 16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
雑益等	590	253	△ 337	368	159	△ 209	628	69	△ 559	1,187	106	△ 1,081	11	5
経常損益	133	302	169	2,086	509	△ 1,577	2,066	△ 328	△ 2,394	1,014	△ 329	△ 1,343	△ 937	△ 681
臨時損失	△ 5	△ 7	△ 2	13	△ 173	△ 186	129	△ 10	△ 139	0	0	-	-	-
臨時利益		7,620	7,620		2,056	2,056		1,581	1,581		4,487	4,487	916	1,514
目的積立金取崩額	25	82	57	26	128	102	9	63	54	9	81	72	12	7
当期総損益	153	7,999	7,846	2,126	2,521	395	2,204	1,304	△ 900	1,025	4,238	3,213	△ 8	841



令和5年度決算(大学)

(単位:百万円)

区 分	大 学			
	R4年度	R5年度	増減	前年度比
経常費用	12,594	13,077	483	104%
業務費	11,681	12,126	445	104%
① 教育研究経費	3,239	3,351	112	103%
受託研究費等	1,047	941	△ 106	90%
② 人件費	7,394	7,832	438	106%
③ 一般管理費等	912	951	39	104%
経常収益	12,727	13,380	653	105%
④ 運営費交付金収益	6,050	6,983	933	115%
⑤ 学生納付金収益	2,815	3,081	266	109%
受託研究等収益等	1,083	1,056	△ 27	98%
寄附金・補助金等収益	1,962	1,796	△ 166	92%
研究関連収入	224	208	△ 16	93%
雑益等	590	253	△ 337	43%
経常損益	133	302	169	227%
⑥ 臨時損益	△ 5	7,613	7,618	△ 152260%
目的積立金取崩額	25	82	57	328%
当期総損益	153	7,999	7,846	5228%

【ポイント】

(経常費用)

- ①教育研究経費
 - ・ 工具器具備品減価償却や旅費交通費の増等により112百万円の増
- ②人件費
 - ・ データサイエンス学部及び看護学研究科の常勤教員の増等により438百万円の増

③一般管理費

- ・ みどり市民病院・みらい光生病院に係る人事給与システムライセンス料の増等により39百万円の増

(経常収益)

④運営費交付金収益

- ・ データサイエンス学部の新設及び中央看護専門学校との統合等により933百万円の増

⑤学生納付金収益

- ・ データサイエンス学部の新設や、医学研究科、看護学部、経済学部、人文社会学部の入学定員の増等により266百万円の増

⑥臨時損益

- ・ 会計制度の改訂（資産見返負債の廃止）に伴う臨時利益の増(7,160百万円)等により7,618百万円の増



学生納付金収入(大学)



(単位: 千円)

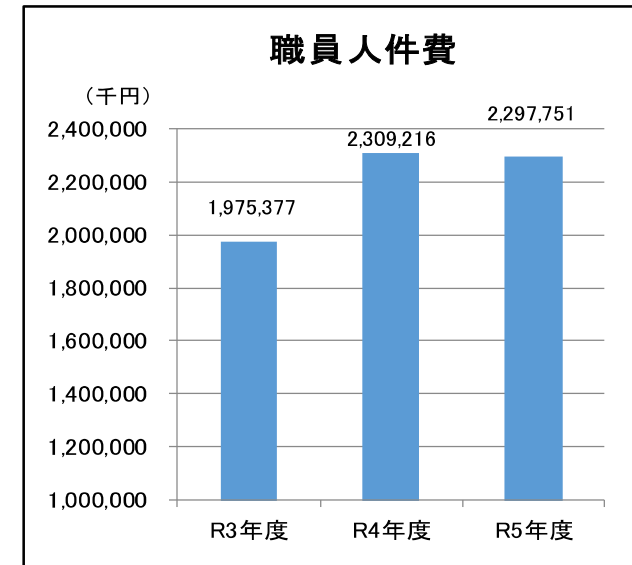
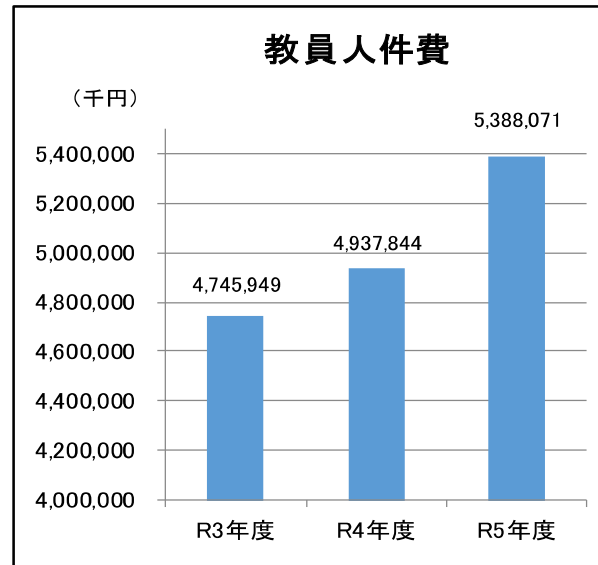
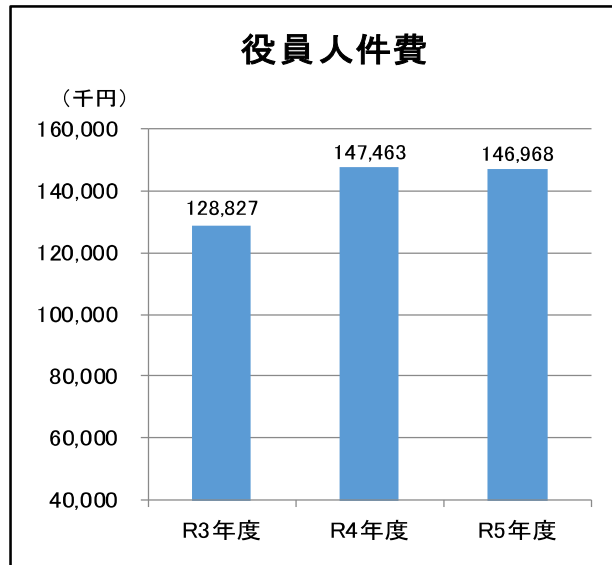
項 目	R3年度	R4年度	R5年度	前年度増減	前年度比
授業料収入	2, 245, 119	2, 273, 959	2, 412, 685	138, 726	106. 1%
授業料減免	166, 500	160, 614	155, 407	△ 5, 207	96. 8%
入学金収入	340, 195	400, 589	395, 164	△ 5, 425	98. 6%
検定料収入	91, 192	103, 349	98, 381	△ 4, 968	95. 2%
手数料収入	252	288	180	△ 108	62. 5%

【ポイント】

- データサイエンス学部の新設や、看護学部、経済学部、人文社会学部、医学研究科の入学定員の増等による学生数の増及び減免者数の減により、授業料収入は前年度決算より138, 726千円の増
- 減免者数は730名で前年度の796名より66名減となり、授業料減免額は5, 207千円の減



人件費(大学)



(単位:千円)

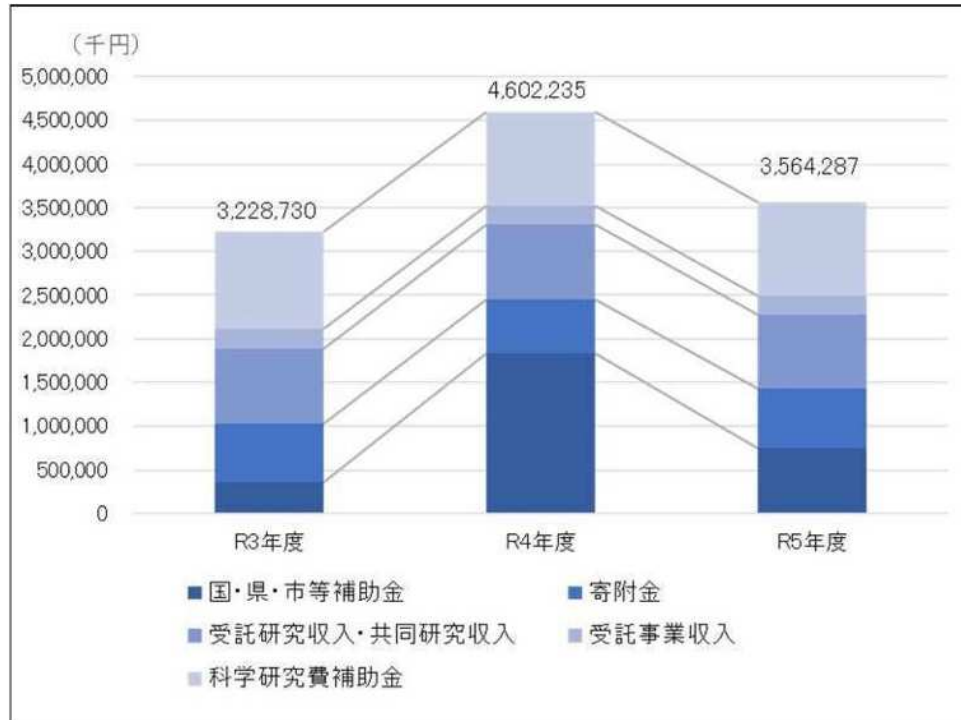
項 目	R3年度	R4年度	R5年度	前年度増減	前年度比
役員人件費	128,827	147,463	146,968	△ 495	99.7%
教員人件費	4,745,949	4,937,844	5,388,071	450,227	109.1%
職員人件費	1,975,377	2,309,216	2,297,751	△ 11,465	99.5%
合 計	6,850,153	7,394,523	7,832,791	438,268	105.9%

【ポイント】

教員人件費: データサイエンス学部・看護学研究科・医学研究科(リハ専攻)の常勤教員の増(23名)による給料等の増
 職員人件費: 緑市民病院等の大学病院化準備の常勤職員の減(各病院セグメントへの移行)(26名)による給料等の減
 事務体制強化・総合リハビリテーションセンターの大学病院化準備の常勤職員の増(23名)による給料等の増



補助金及び外部資金収入(大学)



【ポイント】 令和4年度決算との増減額

○市補助金

- ・ 緑市民病院大学病院化準備負担金 $\Delta 874,000$ 千円
- ・ 中央看護専門学校統合準備負担金 $\Delta 289,778$ 千円
- ・ 光熱費高騰対策補助金 $\Delta 86,509$ 千円

○寄附金

- ・ 寄附講座 $+ 82,350$ 千円
- ・ 研究助成金 $\Delta 59,810$ 千円
- ・ 学術奨励寄附金 $+ 40,253$ 千円

○受託研究収入・共同研究収入

- ・ 受託研究収入 $+ 6,823$ 千円
- ・ 共同研究収入 $\Delta 24,449$ 千円

(単位: 千円)

区 分	R3年度	R4年度	R5年度	前年度増減	前年度比
国・県・市等補助金	360,084	1,835,945	751,547	$\Delta 1,084,398$	40.9%
寄附金	674,270	615,549	683,956	68,408	111.1%
受託研究収入・共同研究収入	853,665	857,072	839,446	$\Delta 17,626$	97.9%
受託事業収入	228,998	211,628	215,879	4,251	102.0%
科学研究費補助金	1,111,713	1,082,041	1,073,459	$\Delta 8,582$	99.2%
合 計	3,228,730	4,602,235	3,564,287	$\Delta 1,037,948$	77.4%



令和5年度決算(市大病院)

(単位:百万円)

区 分		市大病院			
		R4年度	R5年度	増減	前年度比
経常費用		35,043	36,397	1,354	104%
業務費		34,641	35,994	1,353	104%
①	教育研究経費	80	73	△ 7	91%
	診療経費	20,290	21,676	1,386	107%
	受託研究費等	311	343	32	110%
②	人件費	13,957	13,901	△ 56	100%
一般管理費等		402	403	1	100%
経常収益		37,130	36,906	△ 224	99%
③	運営費交付金収益	1,791	2,550	759	142%
④	附属病院収益	30,521	32,018	1,497	105%
受託研究等収益等		420	904	484	215%
⑤	寄附金・補助金等収益	4,028	1,274	△ 2,754	32%
雑益等		368	159	△ 209	43%
経常損益		2,086	509	△ 1,577	24%
⑥	臨時損益	13	1,883	1,870	14485%
目的積立金取崩額		26	128	102	492%
当期総損益		2,126	2,521	395	119%

【ポイント】

(経常費用)

①診療経費

- ・ CAR-T細胞療法の増加や高額医薬品の使用量増等に伴う医薬材料費の増(1,087百万円)や、入退室管理システム・カードリーダー工事等に伴う設備関係費の増(373百万円)等により1,386百万円の増

②人件費

- ・ 医師等の人員増や人事委員会勧告に伴い月給・賞与が増加した一方、教職員の賞与・退職一時金について運営費交付金が充当されることとなったため賞与・退職給付引当金が減少し56百万円の減

(経常収益)

③運営費交付金収益

- ・ 長期借入金元利償還分の増(376百万円)や救急災害医療センター開棟に向けた人件費の増(145百万円)等により759百万円の増

④附属病院収益

- ・ CAR-T細胞療法の増加等による入院診療単価の増加や患者数の増加による入院収益の増(1,050百万円)
- ・ 注射料の増加等により外来診療単価が増加したことに伴う外来収益の増(480百万円)

⑤寄附金・補助金等収益

- ・ 県新型コロナウイルス感染症病床確保料補助金の減少(2,558百万円)等により2,754百万円の減

⑥臨時損益

- ・ 会計制度の改訂(資産見返負債の廃止)に伴う臨時利益の増(802百万円)等により1,870百万円の増



令和5年度決算(東部)

(単位:百万円)

区 分		東部医療センター			
		R4年度	R5年度	増減	前年度比
経常費用		16,593	16,929	336	102%
業務費		16,435	16,775	340	102%
①	教育研究経費	49	54	5	110%
	診療経費	8,023	8,216	193	102%
	受託研究費等	4	3	△ 1	75%
	人件費	8,358	8,501	143	102%
②	一般管理費等	158	154	△ 4	97%
経常収益		18,660	16,600	△ 2,060	89%
運営費交付金収益		1,197	1,410	213	118%
③	附属病院収益	14,274	14,170	△ 104	99%
受託研究等収益等		7	8	1	114%
④	寄附金・補助金等収益	2,551	941	△ 1,610	37%
雑益等		628	69	△ 559	11%
経常損益		2,066	△ 328	△ 2,394	△ 16%
⑤	臨時損益	129	1,570	1,441	1217%
目的積立金取崩額		9	63	54	700%
当期総損益		2,204	1,304	△ 900	59%

【ポイント】

(経常費用)

①診療経費

- ・ 病院情報システム関連の保守契約の開始等により委託費が222百万円の増。駐車場を令和5年3月に整備したこと等に伴う減価償却費の増(68百万円)
- ・ 化学療法の件数増等により医薬品費が56百万円増加したものの、コロナ関連の消耗品の使用減等により材料費が127百万円減少したため、医薬材料費が71百万円の減

②人件費

- ・ 看護職員の増員等により143百万円の増

(経常収益)

③附属病院収益

- ・ 患者数は増加したものの、コロナ診療の加算額減少等により入院収入は減(138百万円)
- ・ コロナ検査等の減少はあったものの化学療法や外来CT/MRの件数増加などで外来収入は増(34百万円)

④寄附金・補助金等収益

- ・ 県新型コロナウイルス感染症病床確保料補助金の減少(1,858百万円)等により1,610百万円の減

⑤臨時損益

- ・ 会計制度の改訂(資産見返負債の廃止)に伴う臨時利益の増(1,332百万円)等により1,441百万円の増



令和5年度決算(西部)

(単位: 百万円)

区 分		西部医療センター			
		R4年度	R5年度	増減	前年度比
① 経常費用		19,631	20,206	575	103%
業務費		19,428	20,009	581	103%
①	教育研究経費	37	40	3	108%
	診療経費	10,769	11,113	344	103%
	受託研究費等	1	2	1	200%
②	人件費	8,620	8,852	232	103%
一般管理費等		202	197	△ 5	98%
経常収益		20,646	19,876	△ 770	96%
運営費交付金収益		538	897	359	167%
③	附属病院収益	17,497	18,142	645	104%
受託研究等収益等		2	4	2	200%
④	寄附金・補助金等収益	1,420	726	△ 694	51%
⑤	雑益等	1,187	106	△ 1,081	9%
経常損益		1,014	△ 329	△ 1,343	△ 32%
⑥	臨時損益	0	4,487	4,487	-
目的積立金取崩額		9	81	72	900%
当期総損益		1,025	4,238	3,213	413%

【ポイント】

(経常費用)

①診療経費

- ・化学療法件数の増加や手術件数の増加、高額薬品の使用量増等により、医薬材料費の増(550百万円)
- ・電気・ガス価格激変緩和対策事業により、光熱水費の減(90百万円)

②人件費

- ・医師の増員等により232百万円の増

(経常収益)

③附属病院収益

- ・患者数の増加や手術件数の増加等による入院収益の増(301百万円)
- ・注射料の増加等による外来診療単価の増加による外来収益の増(344百万円)

④寄附金・補助金等収益

- ・県新型コロナウイルス感染症病床確保料補助金の減少(736百万円)等により、694百万円の減

⑤雑益等

- ・会計制度の改訂(資産見返負債の廃止)に伴う資産見返戻入の減等により1,081百万円の減

⑥臨時損益

- ・会計制度の改訂(資産見返負債の廃止)に伴う臨時利益の増(4,199百万円)等により4,487百万円の増



令和5年度決算(みどり)

(単位:百万円)

区 分	みどり市民病院			
	R4年度	R5年度	増減	前年度比
① 経常費用	-	4,322	4,322	-
業務費	-	4,225	4,225	-
② ① 教育研究経費	-	8	8	-
② ② 診療経費	-	1,767	1,767	-
② ③ 受託研究費等	-	-	-	-
② ④ 人件費	-	2,449	2,449	-
一般管理費等	-	97	97	-
③ 経常収益	-	3,385	3,385	-
運営費交付金収益	-	588	588	-
③ ③ 附属病院収益	-	2,564	2,564	-
受託研究等収益等	-	-	-	-
④ ④ 寄附金・補助金等収益	-	220	220	-
雑益等	-	11	11	-
④ 経常損益	-	△ 937	△ 937	-
⑤ ⑤ 臨時損益	-	916	916	-
目的積立金取崩額	-	12	12	-
当期総損益	-	△ 8	△ 8	-

【ポイント】

(経常費用)

① 診療経費

- ・ 医薬材料費(給食材料費含)631百万円を計上
- ・ 委託費573百万円を計上
- ・ 減価償却費200百万円を計上
- ・ 水道光熱費104百万円を計上

② 人件費

- ・ 職員人件費1,907百万円を計上
- ・ 教員人件費542百万円を計上

(経常収益)

③ 附属病院収益

- ・ 入院収益1,858百万円を計上
- ・ 外来収益623百万円を計上

④ 寄附金・補助金等収益

- ・ 施設整備費収益化分62百万円を計上
- ・ R4緑市民病院準備経費で取得した資産の減価償却相当分(市からの補助金)79百万円を計上
- ・ 愛知県新型コロナウイルス感染症対策事業補助金66百万円を計上

⑤ 臨時損益

- ・ 大学病院化による物品受贈益262百万円を計上
- ・ 運営費交付金収益債務残653百万円を計上



令和5年度決算(みらい)

(単位:百万円)

区 分	みらい光生病院			
	R4年度	R5年度	増減	前年度比
① 経常費用	-	2,695	2,695	-
業務費	-	2,689	2,689	-
② 教育研究経費	-	16	16	-
③ 診療経費	-	946	946	-
受託研究費等	-	0	0	-
④ 人件費	-	1,726	1,726	-
一般管理費等	-	6	6	-
⑤ 経常収益	-	2,014	2,014	-
運営費交付金収益	-	1,048	1,048	-
⑥ 附属病院収益	-	794	794	-
受託研究等収益等	-	0	0	-
⑦ 寄附金・補助金等収益	-	164	164	-
雑益等	-	5	5	-
⑧ 経常損益	-	△ 681	△ 681	-
⑨ 臨時損益	-	1,514	1,514	-
目的積立金取崩額	-	7	7	-
当期総損益	-	841	841	-

【ポイント】

(経常費用)

①診療経費

- ・委託費315百万円を計上
- ・減価償却費292百万円を計上
- ・医薬材料費73百万円を計上

②人件費

- ・職員人件費1,401百万円を計上
- ・教員人件費325百万円を計上

(経常収益)

③附属病院収益

- ・入院収益724百万円を計上
- ・外来収益71百万円を計上

④寄附金・補助金等収益

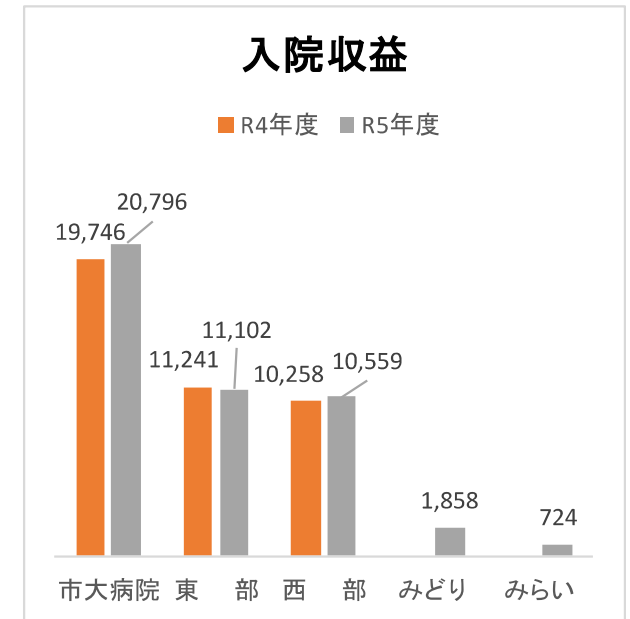
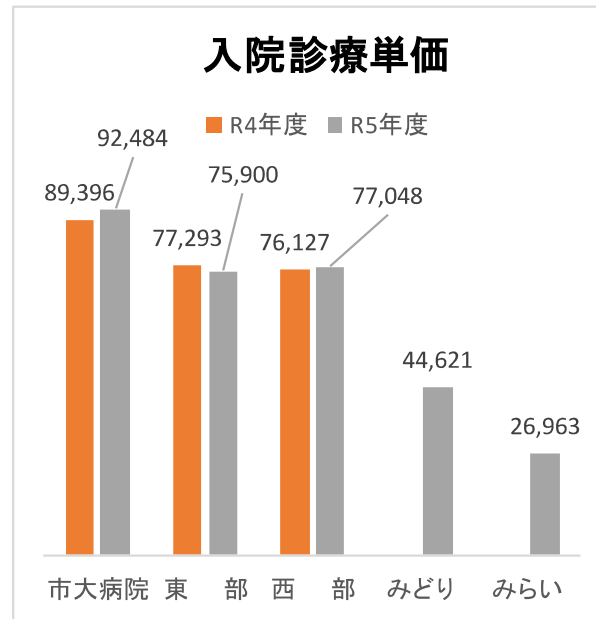
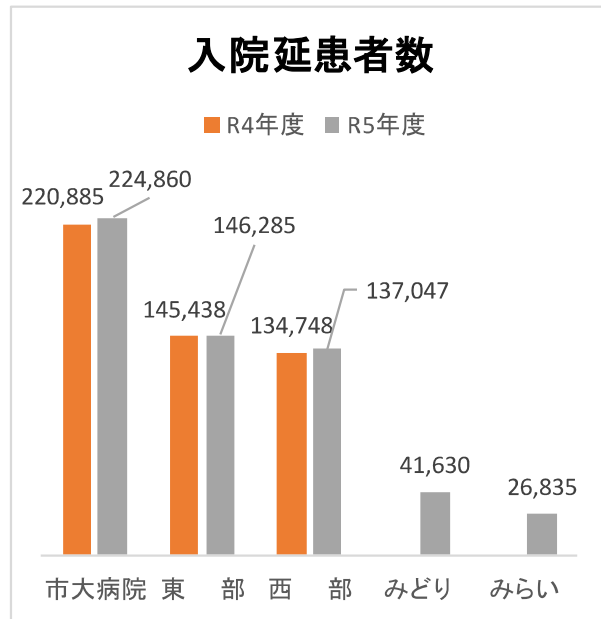
- ・県新型コロナウイルス感染症病床確保料補助金82百万円を計上
- ・施設費収益76百万円を計上

⑤臨時損益

- ・大学病院化による物品受贈益1,514百万円を計上



入院収益(5病院)

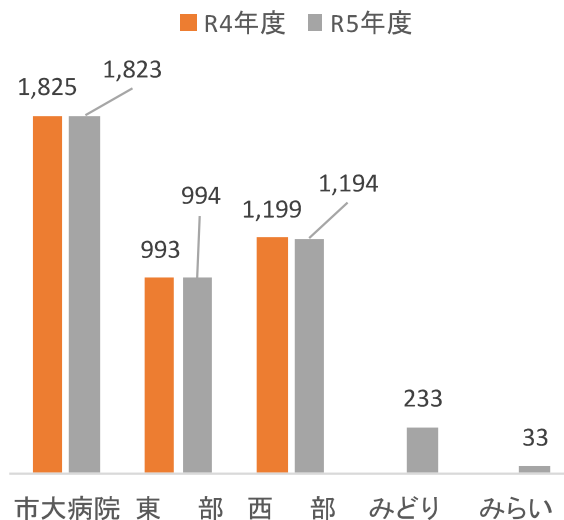


- 【市大病院】・CAR-T細胞療法の増加や手術件数の増加に伴う手術料の増加及び、HCU管理料の算定開始や患者数増加等による増 1,050百万円
- 【東部】・入院患者数は前年度比で増加したもののコロナ診療の加算額減少等による減 △157百万円
- 【西部】・看護職員処遇改善評価料及び夜間急性期看護補助体制加算ハ等の算定開始や手術件数等の増加に伴う入院診療単価の増加及び、患者数の増加等による増 301百万円
- 【みどり】・全4病棟のうち、4～12月まで3病棟での運営であったこと等により、入院収益の予算2,654百万円に対し、1,858百万円と予算を達成できなかったが入院診療単価は44,621円と予算42,299円を達成できた。
- 【みらい】・入院収益は開院以降徐々に伸びてきてはいたが、停滞もあり、その伸び幅は十分ではなく、予算額には未達

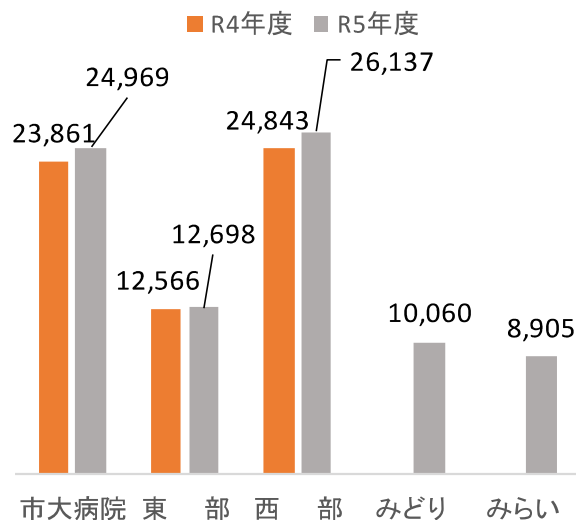


外来収益(5病院)

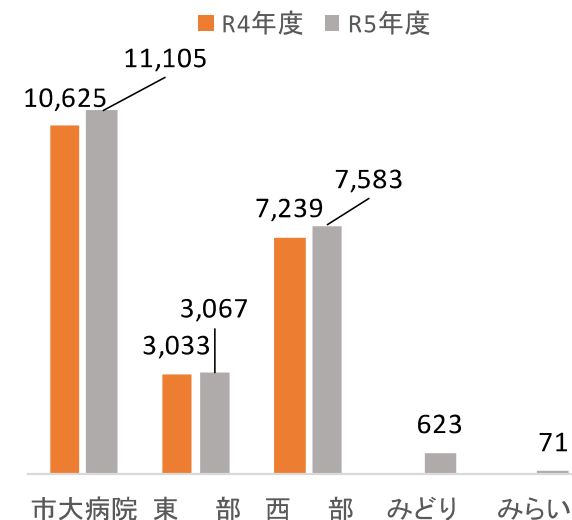
1日平均外来患者数



外来診療単価



外来収益



- 【市大病院】・高額医薬品の使用量増に伴う注射料の増加等による増 480百万円
- 【東部】・コロナ検査などの加算が減少したものの、化学療法や外来CT/MRの件数増加による増 33百万円
- 【西部】・高額医薬品の使用量増に伴う注射料の増加等による増 344百万円
- 【みどり】・1日平均外来患者数が233人と予算280人を下回り、外来収益予算865百万円に対して623百万円と予算を達成できなかったが、患者数は年明け以降260人台まで伸びている。
- 【みらい】・患者数が低迷したこと、予算に比して診療単価が低調だったことを受け、外来収益は予算額と大きく乖離



附属病院収益(5病院)

<入 院>

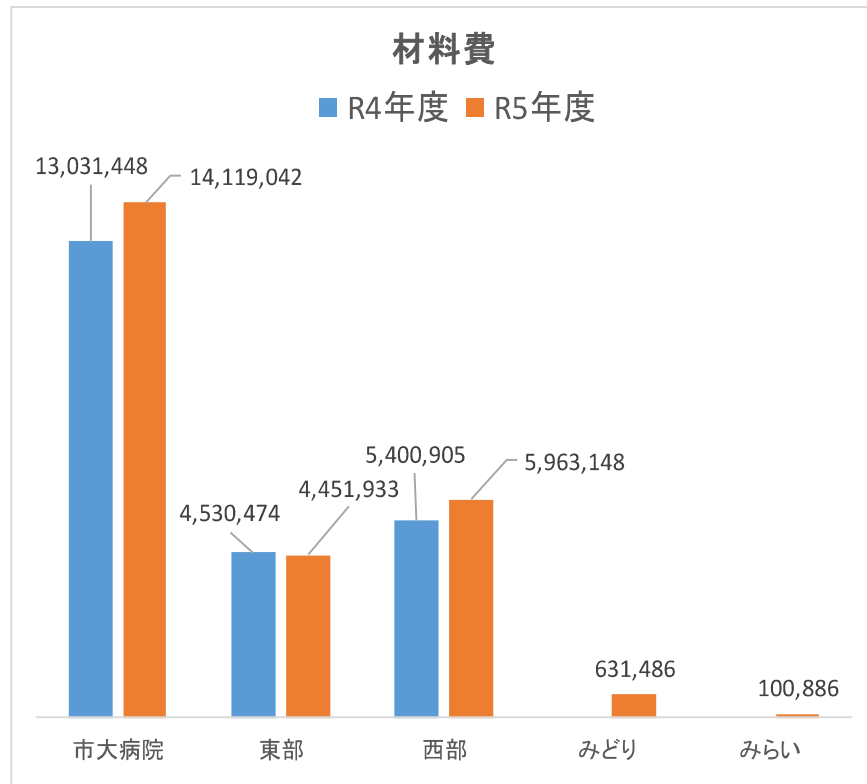
区分	入院延患者数（人）		入院診療単価（円）		入院収益（百万円）	
	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度
市大病院	220,885	224,860	89,396	92,484	19,746	20,796
東 部	145,438	146,285	77,293	75,900	11,241	11,102
西 部	134,748	137,047	76,127	77,048	10,258	10,559
みどり		41,630		44,621		1,858
みらい		26,835		26,963		724
合 計	501,071	576,657			41,245	45,039

<外 来>

区分	1日平均外来患者数（人）		外来診療単価（円）		外来収益（百万円）	
	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度
市大病院	1,825	1,823	23,861	24,969	10,625	11,105
東 部	993	994	12,566	12,698	3,033	3,067
西 部	1,199	1,194	24,843	26,137	7,239	7,583
みどり		233		10,060		623
みらい		33		8,905		71
合 計	4,017	4,277			20,897	22,449



材料費(5病院)



【市大病院】

- ・ CAR-T細胞療法の増加や高額医薬品の使用量増に伴う医薬品費の増 886,937千円
- ・ 入院手術件数等の増による診療材料費の増 212,887千円

【東部】

- ・ 化学療法の件数の増加等による医薬品費の増 56,449千円
- ・ コロナ関連の材料の使用減等による診療材料費の減 △127,786千円

【西部】

- ・ 高額医薬品の使用量増等による医薬品費の増 479,389千円
- ・ 手術件数の増加等による診療材料費の増 71,051千円

【みどり】

- ・ 診療材料費331百万円、医薬品費260百万円、給食材料費39百万円を計上

【みらい】

- ・ 医薬材料費73百万円、給食材料費27百万円を計上

(単位:千円)

区 分	材料費			
	R4年度	R5年度	附属病院収益	材料費比率
市大病院	13,031,448	14,119,042	32,018,087	44.1%
東部	4,530,474	4,451,933	14,170,931	31.4%
西部	5,400,905	5,963,148	18,142,556	32.9%
みどり		631,486	2,564,414	24.6%
みらい		100,886	794,255	12.7%
合計	22,962,827	25,266,495	67,690,243	37.3%

※材料費の対附属病院収益比率は、税込金額で算出しているため、中期計画における数値目標とは一致しない

<参考>

区 分	医薬材料比率
市大病院	40.2%
東部	27.6%
西部	29.2%
みどり	22.0%
みらい	9.3%

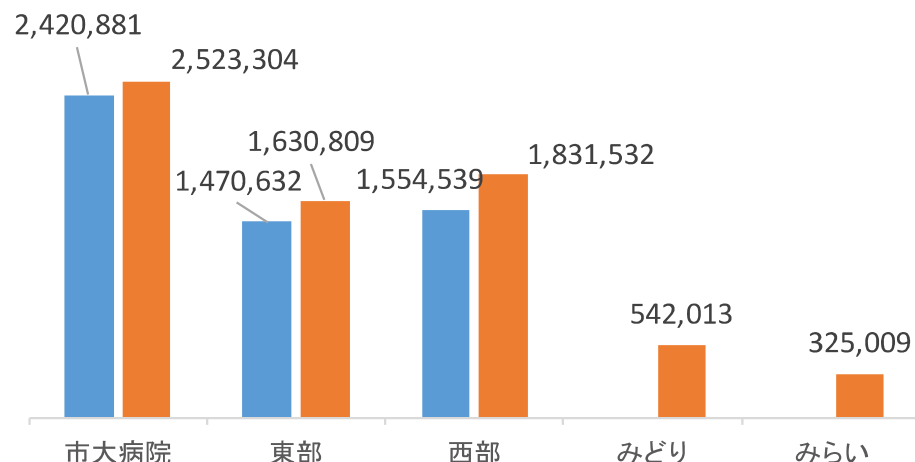
※第三期中期計画における数値目標である、医薬材料費比率（医薬材料費（税抜）÷診療収入）で算定



人件費(5病院)

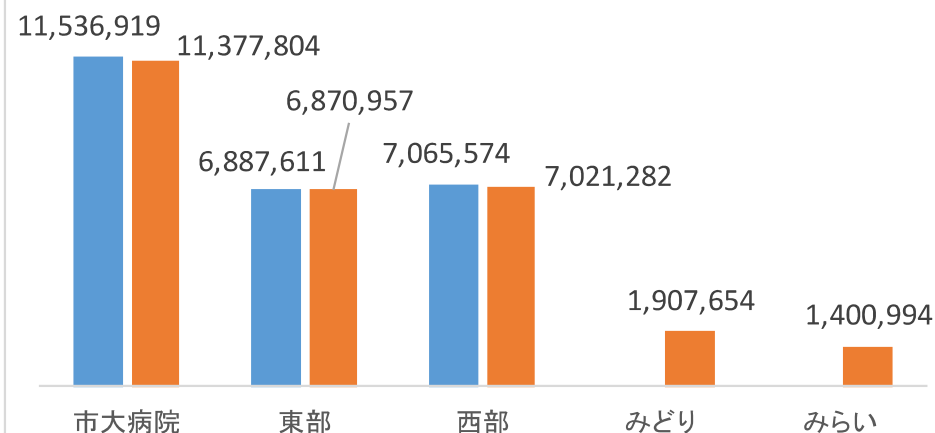
教員人件費

■ R4年度 ■ R5年度



職員人件費

■ R4年度 ■ R5年度



- 【市大病院】・医師数の増に伴う給与・賞与の増
・応援医師増に伴う応援診療手当の増 等

104,423千円

- 【東部】・医師の教員への巻替え等による増

159,765千円

- 【西部】・医師の増加及び医師の教員への巻替え等による増

276,993千円

- 【みどり】・常勤教員約29名の人件費を計上

- 【みらい】・常勤教員18名の人件費を計上

- 【市大病院】・人事委員会勧告に伴う月給・賞与の増
・賞与・退職給付引当金の減 等

△159,115千円

- 【東部】・看護職員増などの影響もあるものの、医師の教員への巻替え等により全体では減

△15,074千円

- 【西部】・医師の教員への巻替え等による減

△44,292千円

- 【みどり】・常勤職員約199名、非常勤職員約112名の人件費を計上

- 【みらい】・職員約185名の人件費を計上



人件費(5病院)

(単位:千円)

区分	人件費計			教員人件費			職員人件費		
	R4年度	R5年度	R5人件費比率	R4年度	R5年度	R5人件費比率	R4年度	R5年度	R5人件費比率
市大病院	13,957,800	13,901,108	43.4%	2,420,881	2,523,304	7.9%	11,536,919	11,377,804	35.5%
東部	8,358,243	8,501,766	60.0%	1,470,632	1,630,809	11.5%	6,887,611	6,870,957	48.5%
西部	8,620,113	8,852,814	48.8%	1,554,539	1,831,532	10.1%	7,065,574	7,021,282	38.7%
みどり		2,449,667	95.5%		542,013	21.1%		1,907,654	74.4%
みらい		1,726,003	217.3%		325,009	40.9%		1,400,994	176.4%
合 計	30,936,156	35,431,358	52.3%	5,446,052	6,852,667	10.1%	25,490,104	28,578,691	42.2%



比較貸借対照表

(単位: 百万円)

区 分	R5. 3. 31 A	R6. 3. 31 B	増減 B-A	区 分	R5. 3. 31 A	R6. 3. 31 B	増減 B-A
資産				負債			
固定資産	108,493	113,053	4,560	固定負債	26,150	10,288	△ 15,862
有形固定資産	107,938	112,302	4,364	資産見返負債	15,428	-	△ 15,428
土地	34,078	35,275	1,197	長期繰延補助金等	-	1,127	1,127
建物	47,449	46,614	△ 835	長期寄附金債務	797	876	79
構築物	1,007	915	△ 92	長期借入金	8,596	7,484	△ 1,112
工具器具備品	17,506	19,348	1,842	退職給付引当金	541	33	△ 508
図書	5,961	5,940	△ 21	長期リース債務	746	725	△ 21
建設仮勘定	1,914	4,186	2,272	長期資産除去債務	40	40	0
その他	21	21	0	流動負債	21,112	23,178	2,066
無形固定資産	256	382	126	運営費交付金債務	1,090	-	△ 1,090
特許権	23	19	△ 4	寄附金債務	2,617	2,461	△ 156
ソフトウェア	148	255	107	前受受託研究費等	971	354	△ 617
その他	83	107	24	前受金	132	171	39
投資その他資産	299	368	69	科学研究費助成事業等預り金	567	418	△ 149
投資有価証券	282	354	71	預り施設費	-	2,475	2,475
破産再生更生債権等	144	138	△ 6	預り補助金等	294	498	204
徴収不能引当金	△ 144	△ 138	6	一年以内返済予定長期借入金	2,077	2,588	511
その他	16	13	△ 3	未払金	12,220	13,235	1,015
流動資産	40,829	39,864	△ 965	未払消費税等	8	8	-
現金及び預金	21,262	20,807	△ 455	預り金	495	599	104
未収附属病院収入	12,587	12,232	△ 355	賞与引当金	198	7	△ 191
徴収不能引当金	△ 94	△ 87	7	リース債務	438	358	△ 80
有価証券	1,000	-	△ 1,000	負債合計	47,263	33,467	△ 13,796
棚卸資産・医薬材料	1,376	1,682	306	純資産			
未収金	4,560	5,040	480	資本金	111,387	113,981	2,594
その他	138	188	50	資本剰余金	△ 26,558	△ 28,070	△ 1,512
				利益剰余金	17,288	33,526	16,238
				その他有価証券評価差額金	△ 57	13	71
				純資産合計	102,060	119,450	17,390
資産合計	149,323	152,917	3,594	負債・純資産合計	149,323	152,917	3,594

【ポイント】

(資産)

○土地

みどり市民病院の土地の譲渡により増(1,197百万円)

○工具器具備品

みどり市民病院・みらい光生病院の大学病院化に伴う医療用機器の増(2,357百万円)

○建設仮勘定

市大病院の救急災害医療センター建設工事等により増(2,722百万円)

(負債)

○資産見返負債

会計制度の改訂により減

○運営費交付金債務

第三期終了に伴う収益化により減

○未払金

市大病院の救急災害医療センター建設工事による増(1,058百万円)



比較キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	R4年度 決算 A	R5年度 決算 B	差引 B-A	B/A
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	8,942	2,788	△ 6,154	31.2%
原材料、サービスの購入等による支出	△ 37,678	△ 47,626	△ 9,948	126.4%
人件費支出	△ 38,519	△ 43,887	△ 5,368	113.9%
その他の業務支出	△ 1,804	△ 329	1,475	18.2%
運営費交付金収入	10,151	14,610	4,459	143.9%
学生納付金収入	2,773	2,891	118	104.3%
附属病院収入	61,114	68,049	6,935	111.3%
受託研究等収入	1,758	1,340	△ 418	76.2%
寄附金・補助金等収入	10,208	5,858	△ 4,350	57.4%
その他業務収入	869	1,774	905	204.1%
預り金科学研究費補助金等の減少	2	△ 153	△ 155	-7650.0%
預り金等の増加	66	261	195	395.5%
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,780	△ 1,694	6,086	21.8%
定期預金の預入による支出	△ 3,250	△ 9,300	△ 6,050	286.2%
定期預金の払戻による収入	2,750	9,750	7,000	354.5%
有価証券の取得による支出	△ 1,000	-	1,000	-
有価証券の償還による収入	-	1,000	1,000	-
有形固定資産の取得による支出	△ 7,158	△ 4,923	2,235	68.8%
無形固定資産の取得による支出	△ 32	△ 174	△ 142	543.8%
投資その他の資産の取得による支出	△ 14	△ 16	△ 2	114.3%
投資その他の資産の返還による収入	2	1	△ 1	50.0%
施設費による収入	920	1,964	1,044	213.5%
利子及び配当金の受取額	1	3	2	300.0%
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	3,263	△ 1,099	△ 4,362	-33.7%
リース債務の返済による支出	△ 538	△ 474	64	88.1%
長期借入金の返済による支出	△ 2,746	△ 2,077	669	75.6%
長期借入れによる収入	6,565	1,476	△ 5,089	22.5%
利息の支払額	△ 16	△ 23	△ 7	143.8%
IV 資金増減額	4,425	△ 5	△ 4,430	-0.1%
V 資金期首残高	16,087	20,512	4,425	127.5%
VI 資金期末残高	20,512	20,507	△ 5	100.0%

【ポイント】

I 業務活動によるキャッシュ・フロー
2,788千円
診療収入等による収入が業務活動による支出を上回ったことによる資金の増

II 投資活動によるキャッシュ・フロー
△1,694千円
救急災害医療センターに工事費の支払い等による資金の減

III 財務活動によるキャッシュ・フロー
△1,099千円
長期借入金の返済による支出が長期借入れによる収入を上回ったことによる資金の減

IV～VI 令和5年度末の資金残高は20,507百万円で、前年度期末残高20,512百万円より5百万円減少した。



利益(損失)の処理・目的積立金

令和5年度

(単位: 百万円)

(1) 期首

積立金 1,115	大学	11
	市大 病院	1,104
	大学	336
	市大 病院	4,351
	東部	3,814
目的積立金 10,662	西部	2,159

※前中期目標期間繰越積立金を含む
(以降同じ)

(2) 期中

①令和4年度未処分利益の処分

積立金 1,199	大学	26
	市大 病院	1,171
	大学	474
	市大 病院	6,410
	東部	6,018
目的積立金 16,089	西部	3,185

令和4年度未処分利益の計上により増加

②目的積立金の活用

区分	事項	執行額
教育	田坂学生奨学基金など	28
研究	大学院生等への経済的支援など	33
診療	生殖医療センターの開設など	408
一般 管理	体育館(指定避難所)の空調整備など	12
人件費	感謝手当の支給	178
計		659

〔中期計画で定めた剰余金の使途に活用
－ 教育、研究、診療の質の向上
－ 組織運営の改善〕

(セグメント別内訳)

セグメント	執行額
大学	104
市大 病院	177
東部医療センター	63
西部医療センター	293
みどり市民病院	12
みらい光生病院	7
計	659

(会計上の内訳)

区分	仕訳	執行額
費用執行分	目的積立金取崩額	374
資産取得分	資本剰余金	285
計		659

(3) 期末

積立金 1,199	大学	26
	市大 病院	1,171
	大学	370
	市大 病院	6,233
	東部	5,954
目的積立金 15,430	西部	2,891
	みどり	△ 12
	みらい	△ 7

+

当期末処分利益
16,896



第三期中期計画における数値目標

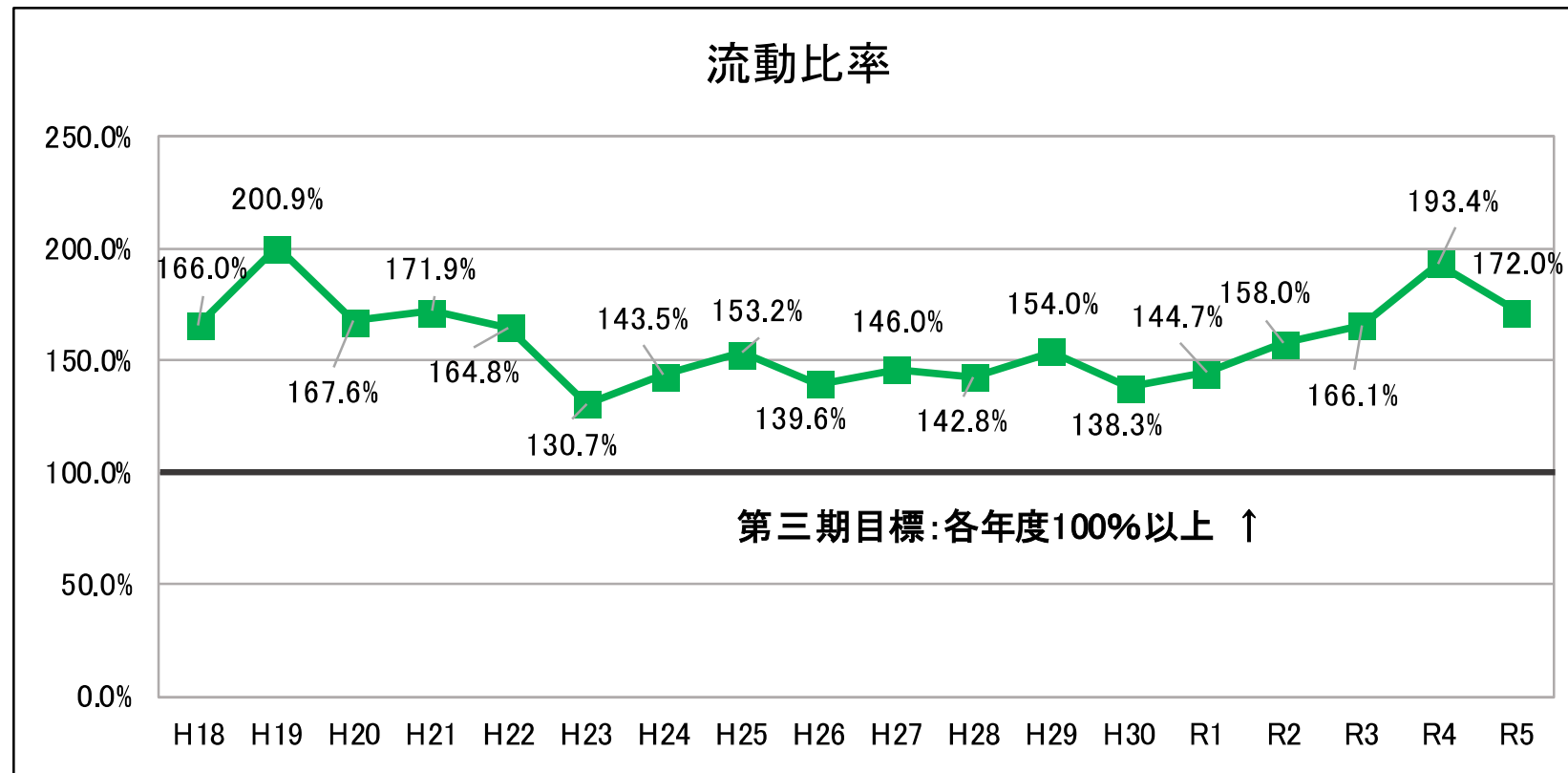
区分	数値目標	目標	第三期											
			H30予算	H30決算	R1予算	R1決算	R2予算	R2決算	R3予算	R3決算	R4予算	R4決算	R5予算	R5決算
法人	流動比率 (流動資産÷流動負債)	各年度	-	138.2%	-	144.7%	-	158.0%	-	166.1%	-	193.4%	-	172.0%
		100%以上												
	当期総損益 (単位:百万円) ※予算は年度計画の損益	各年度	△ 279	△ 87	△ 427	△ 62	△ 322	1,511	774	9,643	216	5,510	467	16,896
		プラス												
	一般管理費比率 (一般管理費÷業務費)	各年度	1.4%	1.7%	1.7%	1.9%	1.6%	2.0%	1.6%	2.0%	1.8%	1.9%	1.3%	1.9%
		1.7%以下												
大学	自主財源額 (単位:百万円) ※運営費交付金等以外の財源	対前年度	5,245	4,960 (4,901)	5,409	5,001 (4,916)	5,443	5,168 (5,005)	5,683	5,508 (4,992)	6,968	6,652 (4,948)	6,094	5,952 (5,200)
		プラス												
市大病院	医薬材料費比率 (医薬材料費(税抜)÷診療収入)	H30～R5年度の 6年間平均で 37.0%以下	37.0%	37.5%	37.0%	37.6%	37.0%	38.0%	37.0%	38.7%	37.0%	38.9% (38.2%)	37.0%	40.2% (38.9%)
東部		R3～5年度の 3年間平均で 28.6%以下	-	-	-	-	-	-	27.2%	27.6%	28.5%	27.8%	28.6%	27.6%
西部		R3～5年度の 3年間平均で 29.7%以下	-	-	-	-	-	-	27.7%	26.4%	28.1%	27.4%	27.8%	29.2%

(注1)大学の自主財源額の括弧内数値は、国・県・市補助金を除いた金額

(注2)市大病院の医薬材料費比率の括弧内数値は、CAR-T細胞療法にかかる金額を除外した比率



財務指標の推移(①流動比率)



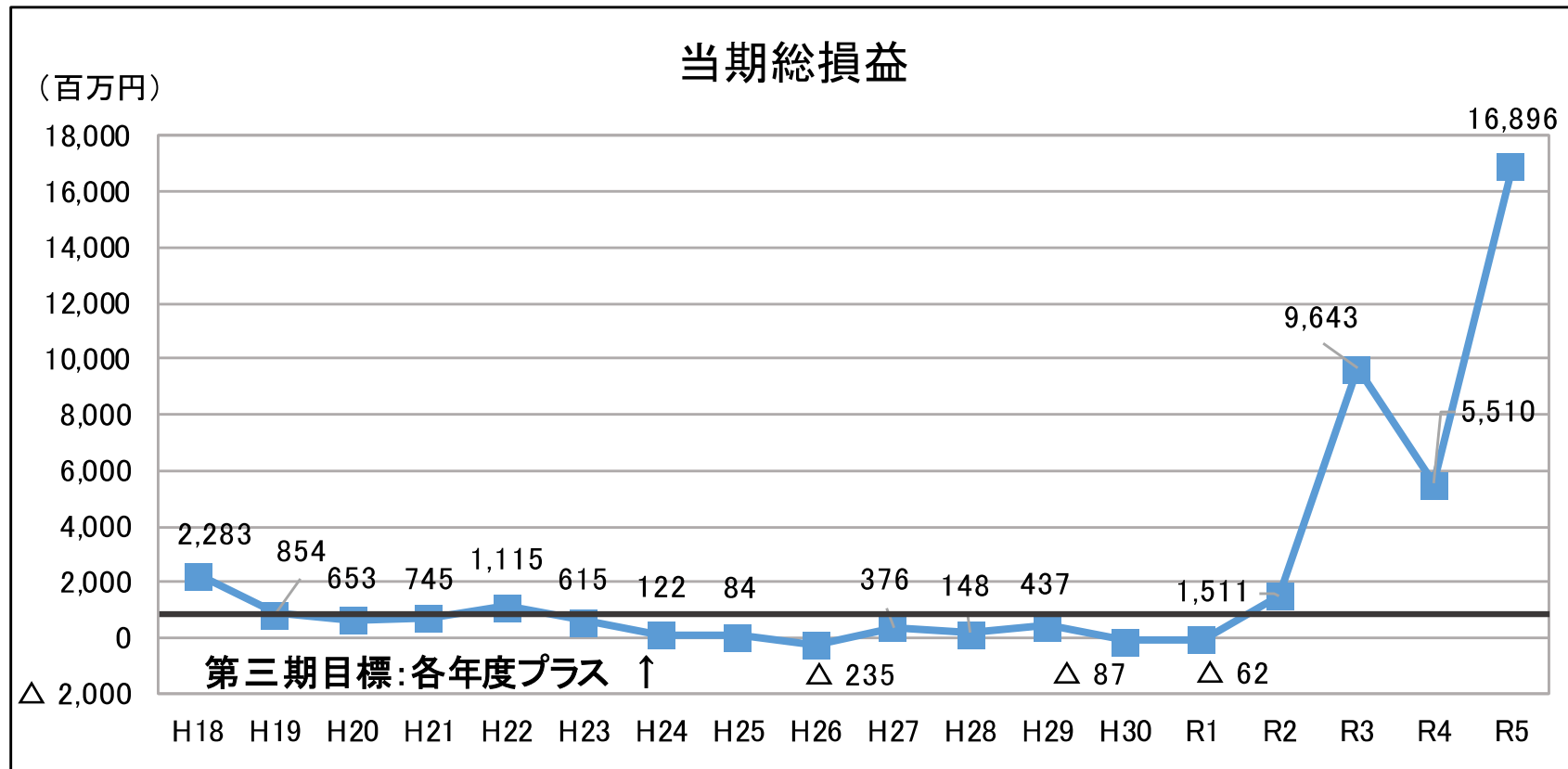
流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債

【ポイント】

会計基準の改訂に伴う預り施設費の増などにより流動負債が増加し、R4を下回ったものの、目標は達成した。



財務指標の推移(②当期総損益)

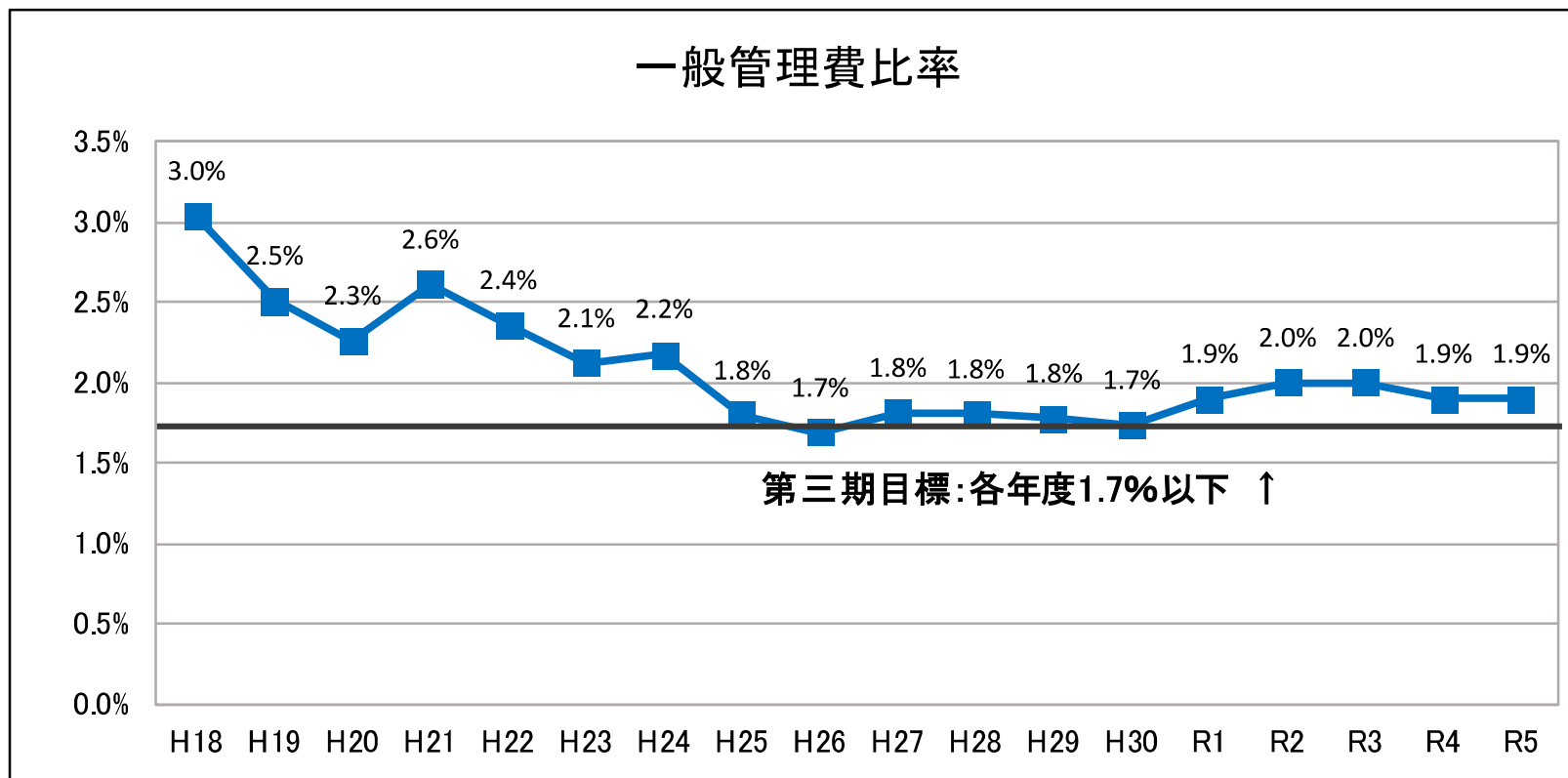


【ポイント】

会計制度の改訂（資産見返負債の廃止）や第三期における運営費交付金債務残額の収益化に伴う臨時利益の増により大幅な増加となった。



財務指標の推移(③一般管理費比率)



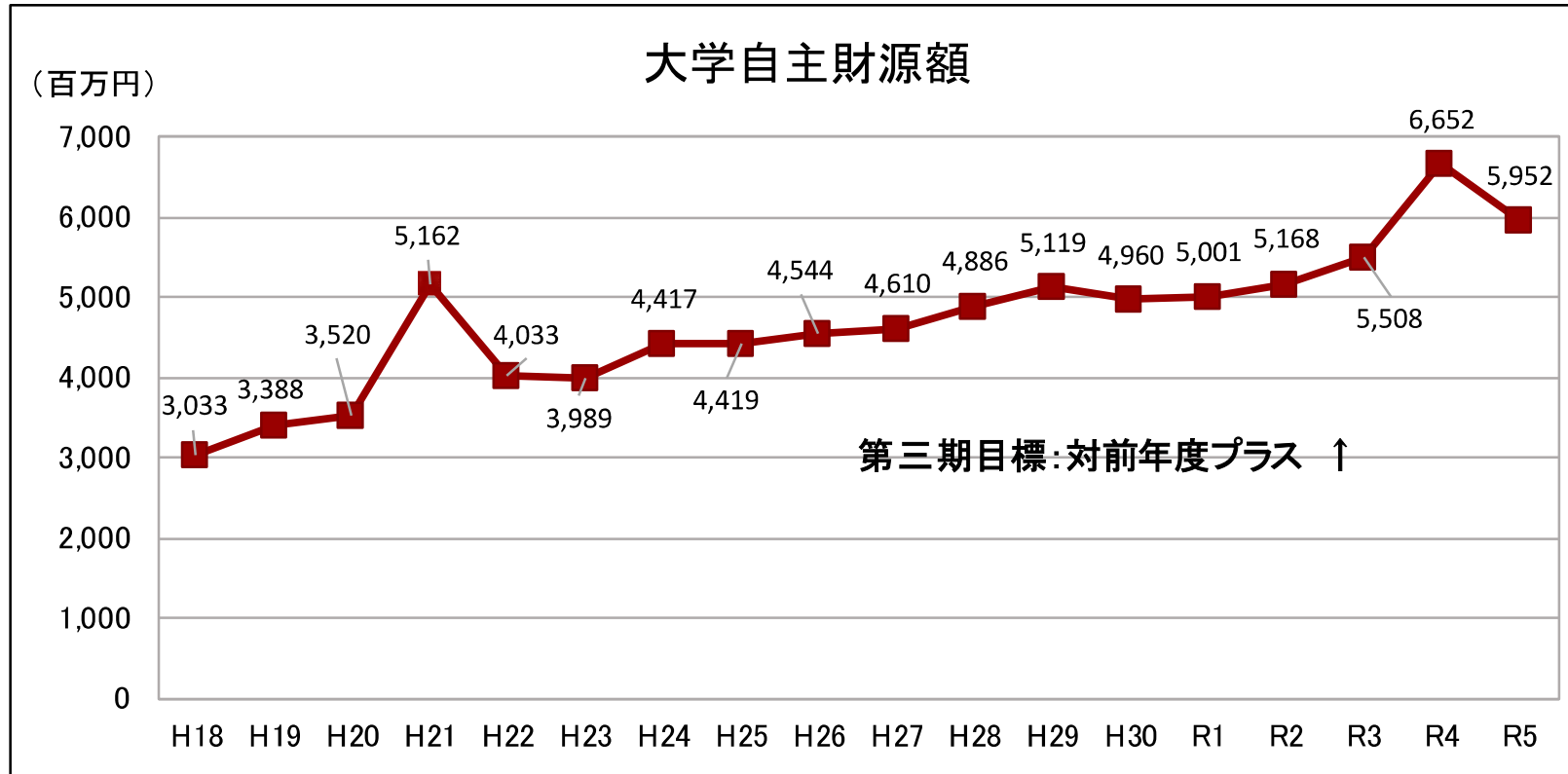
一般管理費比率 = 一般管理費 ÷ 業務費

【ポイント】

滝子・田辺通キャンパス整備の設計委託費の影響等により、R4と横ばいとなった。



財務指標の推移(④大学自主財源額)



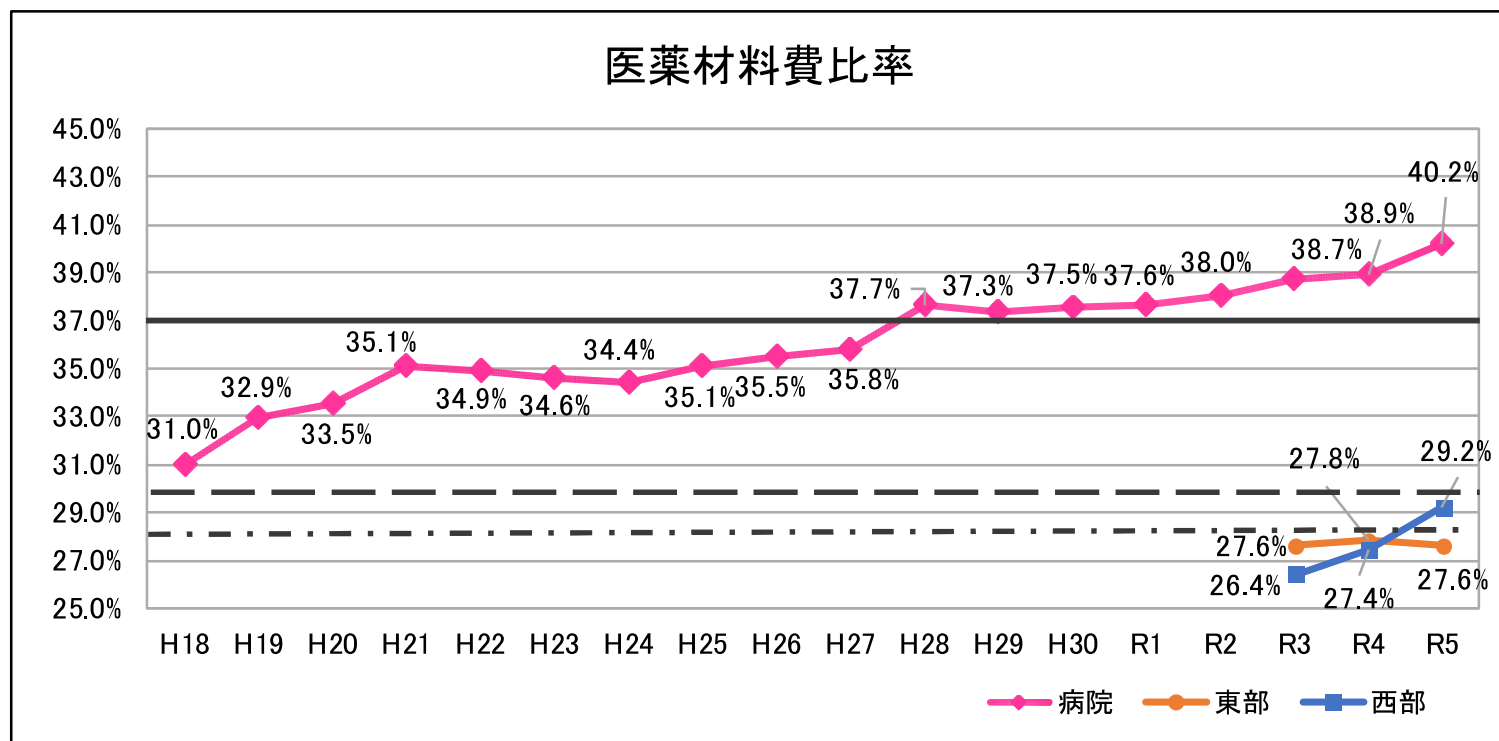
大学自主財源額＝学生納付金収入＋雑収入(国・県・市補助金等)＋受託研究収入等

【ポイント】

緑市民病院大学病院化準備負担金などの補助金が減少したことにより、R4を下回った。



財務指標の推移(⑤医薬材料費比率)



医薬材料費率＝医薬材料費(税抜)÷診療収入

【ポイント】

市大病院においては、バイオシミラー(バイオ医薬品(タンパク質を有効成分とする医薬品)の後発品)への切り替えを推進したものの、CAR-T細胞療法の増加に伴う医薬品費の増や高額医薬品や手術関係の材料費の増が影響し、前年度より1.3ポイントの増加となった。

東部・西部医療センターにおいては目標を達成した。